

キャリア形成支援プログラムと就職・採用の今後

全てのタイプで8月に実施する企業が最多

2025年卒向けには7割を超える企業が実施したキャリア形成支援プログラム。今後、就職・採用活動にどのように影響していくのか、2026年卒向け以降の実施状況などもふまえながら見ていく。

まず、企業のキャリア形成支援プログラムの実施状況を見る。2026年卒向けに実施した企業は75.4%、2027年卒向けに実施予定である企業は74.9%であった（グラフ①）。タイプ別に実施（予定）率を見ると、2026年卒向けと2027年卒向けのどちらも「タイプ1：オープン・カンパニー」が最も高く8割台後半で、次に「タイプ3：汎用的能力・専門活用型インターンシップ」「タイプ2：キャリア教育」が続いた（表②）。P27・表④にて紹介した2025年卒向けの実施率と比較すると、2026年卒向け、2027年卒向けとも、タイプ1は5ポイント程度、タイプ2・3は、2～3ポイント程度増

加傾向にある。

また、2026年卒向けのプログラムの実施時期を見ると（グラフ③）、全てのタイプで「2024年8月」が最も高かった。特に、タイプ3は69.6%で他の月に比べて高い。一方、タイプ1、タイプ2の実施率は、7月以降2025年2月まで毎月3～5割程度で、秋季・冬季も比較的夏季に近かった。

学生の約8割が参加経験あり

次に、学生の参加状況を見る。2026年卒の学生を対象にキャリア形成支援プログラムへの応募・参加状況を調査したところ（P29・表④）、就職意向のある大学生（「まだ志望進路を決めていない」を含む）のうち、応募経験がある学生は83.7%、参加経験がある学生は78.8%で、応募した学生のほとんどがいずれかに参加したことが分かる。また、平均応募社数は10.37社、平均参加社数は5.75社であった。

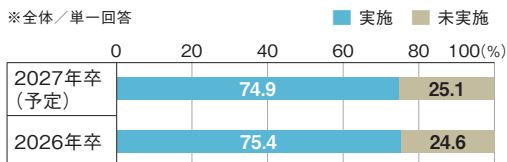
プログラム期間別の参加状況を見ると、「半日」のプログ

企業

75.4%が2026年卒向けにキャリア形成支援プログラムを実施。
そのうち、「オープン・カンパニー」は87.8%が、「インターンシップ」は34.2%が実施

① キャリア形成支援プログラムの実施率

※全体／単一回答



② タイプ別キャリア形成支援プログラムの実施率

※該当卒年対象のキャリア形成支援プログラム実施企業／複数回答

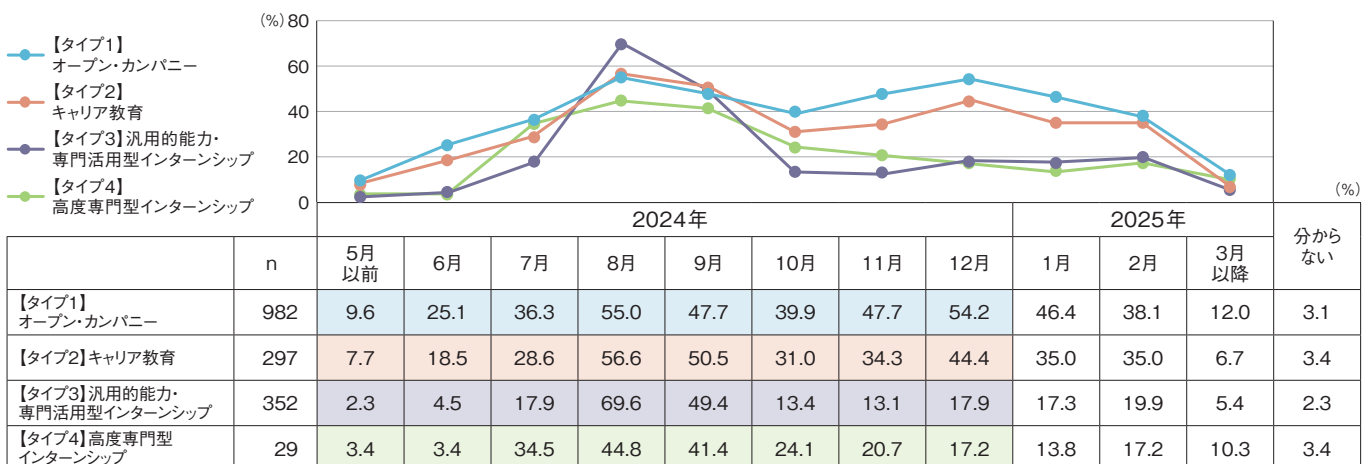
	n	【タイプ1】 オープン・カンパニー	【タイプ2】 キャリア教育	【タイプ3】 汎用的能力・ 専門活用型 インターンシップ	【タイプ4】 高度専門型 インターンシップ	タイプ区分は 意識せずに 実施
2027年卒 (予定)	1,108	87.1%	27.3%	30.5%	1.6%	8.2%
2026年卒	1,119	87.8%	26.7%	31.6%	2.6%	5.9%

企業

全てのタイプにおいて、「2024年8月」の実施割合が高い

③ 2026年卒向けキャリア形成支援プログラムの実施時期

※2026年卒向けキャリア形成支援プログラム実施企業／複数回答





ラムに参加経験のある学生の割合が最も高く53.4%、次いで「1日」(47.2%)、「2日以上～5日未満」(29.9%)、「5日以上～2週間未満」(18.8%)であった(表⑤)。

また、キャリア形成支援プログラムが4つに類型化されたことを知っているかどうか、4類型を示した上で聞いたところ、「知らない」が53.2%で、「知っている」(46.8%)を上回った(グラフ⑥)。

学生の準備期間不足が課題

前述の企業のキャリア形成支援プログラムの実施時期と学生の参加状況、そして、2026年卒採用では企業の面接開始時期などがさらに早まる見込みであること(P25)などから、多くの学生にとっては、卒業年次前年の夏季からキャリア形成支援プログラムが始まり、秋季以降もタイプ1・2などが継続的に実施されている中、早ければ秋季・冬季から採用選考の面接が始まる状況にあると言える。加えて、

キャリア形成支援プログラムへの参加が採用選考への参加条件になっているケースもあることから(P27・グラフ⑤)、本来であれば、キャリア形成支援プログラムでの経験を基に自身の興味・関心や重視したい価値観などについて内省を深め、その上で選社基準を整理するなどして就職活動の準備を進めていくはずが、その準備期間を十分に取れないまま採用選考に臨むケースが生じていることが懸念される。

実際に、各大学のキャリアセンターを対象に行った調査では、就職活動に関して「企業の探し方が分からない」「早期選考の案内をもらったがまだ選考を受ける準備ができていない」などの相談が増えているというコメントが寄せられている(表⑦)。企業が採用プロセスを検討する際には、選考の時期を早めるばかりでなく、学生が十分な内省をもとにキャリアを選択できるよう支援する視点も必要ではないだろうか。

学生

2026年卒学生の78.8%が
キャリア形成支援プログラムに参加

④ インターンシップ等のキャリア形成支援プログラムへの応募・参加状況

※大学生・就職意向者 まだ志望進路を決めていない含む／数値回答

2026年卒 n=843	経験割合	平均社数
応募	83.7 %	10.37 社
参加	78.8 %	5.75 社

※平均社数の集計対象は、1社以上応募した学生(応募平均数)および1社以上参加した学生(参加平均数)

⑤ インターンシップ等のキャリア形成支援プログラムへのプログラム期間別参加状況

※大学生・就職意向者 まだ志望進路を決めていない含む／数値回答

2026年卒 n=843	経験割合	平均件数
半日	53.4 %	4.66 件
1日	47.2 %	3.09 件
2日以上～5日未満	29.9 %	1.75 件
5日以上～2週間未満	18.8 %	1.50 件
2週間以上	4.0 %	1.36 件

※平均件数の集計対象は、各日程のインターンシップ等キャリア形成支援プログラムに1件以上参加した学生

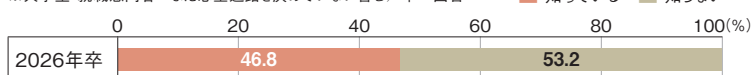
出典④⑤⑥:「2026年卒 インターンシップ・就職活動準備に関する調査」

学生

46.8%がキャリア形成支援プログラムの4類型を認知

⑥ インターンシップ等のキャリア形成支援に係る取り組みの4類型の認知

※大学生・就職意向者 まだ志望進路を決めていない含む／単一回答



大学

早期選考に関する相談が学生から寄せられている

⑦ 2026年卒学生からの就職活動に関する相談内容や困りごと

※全体／自由回答

- 企業の探し方が分からない。就活の進め方が分からない。
- 今の時期に何に取り組むべきか、インターンシップやオープン・カンパニーはどのように探したらよいか。
- 何をしたいが決まっておらず、どのインターンシップに参加したらいいか分からないという相談が複数ある。
- インターンシップに関する内容が多く、企業の探し方や参加の時期と就活との関係について。
- 就業体験ができるタイプ3のインターンシップにエントリーするが、参加できないことが多くなっているとの相談が複数あり。
- インターンシップ(5日間以上)の参加について(通過しない、大学が地方であるため通勤しにくい等)。
- 準備が十分でない状態でも早期選考を受けるべきかどうかという相談が増えています。
- 9月に入り、早期選考が始まっているが、履歴書を作成するだけの十分な取り組みがなく、何をPRしていいか悩んでいる。
- 早期選考の案内が来たが、まだ準備ができていない場合も含めどう臨んでいけばいいか。
- 自己分析や業界・企業研究がほとんどできていない状態で早期選考を受けることになり不安であるといった相談を受けることがあります。

出典:「大学の就職・キャリア支援状況に関する調査」